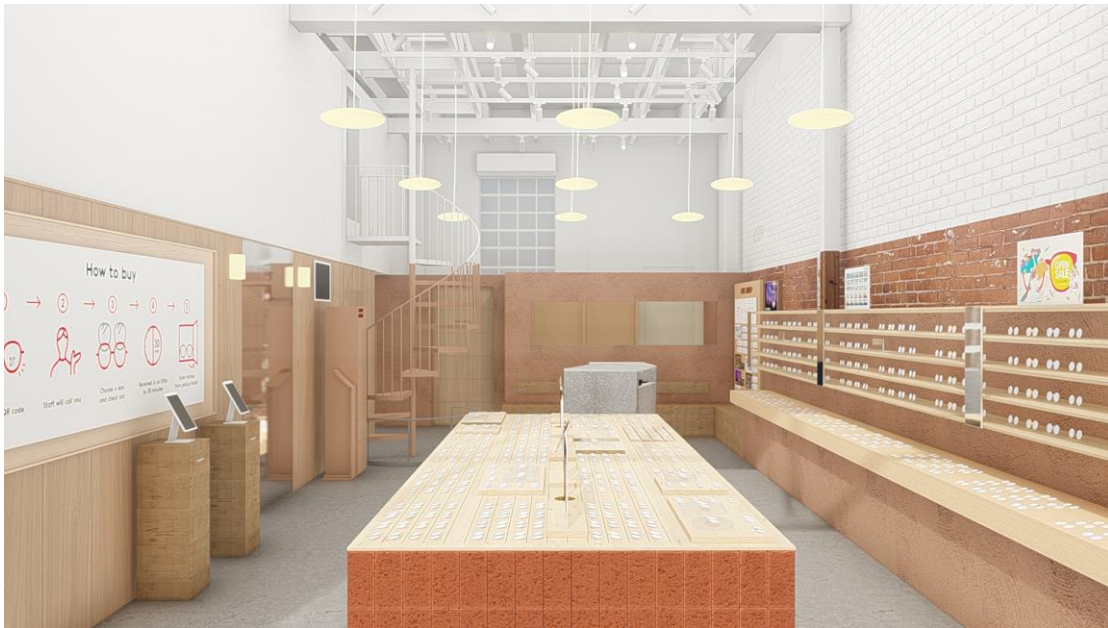


Press Release 2025.1.17

アイウェアの、あるべきすがたを、ここから世界へ。 グローバル展開加速の起点となる新顧客体験店 「JINS Abbot Kinney 店」 1/17(金)オープン！

株式会社ジンスホールディングス（以下 JINS）グループの JINS Eyewear US, Inc.（所在地：San Francisco, California US）は、米国・ロサンゼルスのアボットキニー通りに新店舗「JINS Abbot Kinney 店」を、2025 年 1 月 17 日（金）11:00（現地時間）にオープンします。また、ロサンゼルスで発生した山火事での被災地支援として 1 月 17 日（金）～19 日（日）のロサンゼルス地域 4 店舗の売上全額を現地支援団体へ寄付いたします。



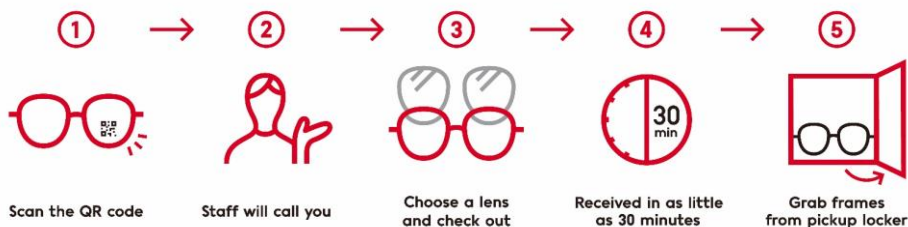
グローバル展開加速の起点となる、デジタルを活用した新しい顧客体験構築の実験店

JINS はビジョン「Magnify Life まだ見ぬ、ひかりを」のもと、まだ誰も知らない可能性にひかりを当て、世界中の人々の生き方そのものを豊かに拓けることを目指しています。これまで、2010 年中国に海外 1 号店を出店し、2015 年に米国、台湾、2018 年にフィリピン、香港へ進出。世界で 765 店舗（2024 年 11 月末時点）を展開し、2025 年夏頃にはベトナムにも出店を目指しています。

今後グローバル展開を加速させ真のグローバルブランドとして成長するためには、世界中の誰もが買いやすい顧客体験の確立が必要であり、文化や習慣などが多様性に富む米国でこそ、その実験を重ねていく店舗を構えるべきと考え同店をオープンします。

同店では、電子タグと二次元コードのついた商品が陳列されており、お客様はご自身のスマートフォンから商品の二次元コードをスキャンし WEB 上で必要事項を入力することで受付が完了。店舗スタッフと相談してレンズの種類を選んだら、お会計しフィッティング・調整を済ませ退店。加工後の商品は自宅か店内ロッカーで受け取るだけ。デジタルを活用することで、お客様は列に並ぶ必要がなく好きな場所やタイミングで商品を受け取ることができ、店舗側はオペレーション効率化でお客様の接客により多くの時間を充てられるメリットがあります。米国内でこの仕組みを試験導入した別店舗では、導入前に比べて客数・売上ともに伸長しました。今回を完成形とはせず JINS Abbot Kinney 店で得られたお客様の反響を踏まえて、段階的に購買体験を進化させ世界の JINS 店舗にも導入を検討していきます。

How to buy



「米国で最もクールなエリア」へ日本特有のスケール感が生む居心地の良い空間が誕生

今回出店するアボットキニー通りは、ロサンゼルススのベニス地区に位置し「米国で最もクールなエリア」としても知られています。アートやクリエイティブなカルチャーにあふれ世界中の一流ブランドやレストランが軒を連ねており、毎年何百万人もの観光客が訪れます。日本発のブランドとして同エリアに出店するにあたり、内装では、茶室を始めとする日本特有のこじんまりとした居心地の良いスケール感や素材感を表現。ヒノキに「なぐり加工」のような凹凸を施した天板と JINS 創業の地・群馬県前橋の街並みに歴史的に所縁の深いレンガを組み合わせた中央のディスプレイ什器は、建物既存のレンガと調和します。設計を担当したのは、新進気鋭の建築家ユニット・高濱史子氏と小松智彦氏。ブランドの価値観や、顧客と商品、サービスの関わり方を中心としたエクスペリエンスデザイン (UX) を井上修輔氏が担当しました。

オープンを記念し、同店でしか手に入らないアイウエアケースもご用意。LA のハンドメイドラグジュアリーレザーブランド「KILLSPENCER」 (<https://killspencer.com/>) が同店のためだけにデザインし、LA でハンドメイドされたアイウエアケース 1 種と、アイウエア 4 点が収納できるトラベルケース 1 種を販売します。さらに、JINS 各国の旗艦店でしか体験できないサービスとしてスタートする、日本の伝統的な美学を体現するアイウエア「JINS IPPITSU」に、日本の卓越した技術で生まれた「インナーリム」を組み合わせることで、より自分らしい一本を追求できるカスタマイズサービス「WATASHI NO IPPITSU -Customize My Own Eyewear-」を米国内では同店限定で展開します。

建築家・高濱氏、小松氏からのコメント

この店舗の設計では、路面店であることから既存建築を活かし、LA という場所に茶室のような日本建築のエッセンス、哲学が詰まった空間を挿入し、その両方が融合し調和する空間を目指しました。具体的には日本らしい少しこじんまりとしたスケール感を表現できるよう、什器のサイズや取り付け高さに気を配りつつ、人の居住域より上の壁面や既存躯体現しの天井部分は全て白に塗装することで抽象化し、空間の重心を下げています。また、素材については既存壁面と前橋の共有項としてのレンガに加え、木を中心に左官や玉石研ぎなどを採用、素材を絞りつつ丁寧にそのテクスチャや色を選び、全体として調和が取れた居心地の良い空間をデザインしました。



高濱史子（たかはまふみこ）氏プロフィール

1979 年生まれ。2003 年京都大学卒業。東京大学大学院に進学、スイス連邦工科大学チューリヒ校留学、Christian Kerez、HHF Architects でのインターンシップを経て 2007 年同大学院修士課程修了。2007 年より 2012 年まで Herzog & de Meuron 勤務。2012 年 +ft+/高濱史子建築設計事務所設立、神戸大学学術推進研究員。2013 年ー2015 年東京大学特任研究員。2017 年工学院大学非常勤講師。2023 年芝浦工業大学非常勤講師。2024 年株式会社高濱史子小松智彦建築設計に改組。主な作品に「ジンスホールディングス東京本社」「Giant House in Oiso」「Nakamata Laboratory Store」ほか。著書に『海外で建築を仕事にする』（共著、学術出版社）。

小松智彦（こまつともひこ）氏プロフィール

1989 年生まれ。2012 年東京理科大学工学部卒業。東京大学大学院に進学、Aires Mateus でのインターンシップを経て 2015 年同大学院修士課程修了。2015 年ー2021 年坂茂建築設計勤務。2022 年 +ft+/高濱史子建築設計事務所共同主宰。2024 年株式会社高濱史子小松智彦建築設計に改組。

井上修輔（いのうえしゅうすけ）氏プロフィール

共同代表、チーフデザインディレクター

横浜市出身。ロサンゼルス UCLA 建築・都市計画学科を卒業し 2009~2018 年スイスの建築設計事務所 Herzog & de Meuron に勤務。同社にて、56 Leonard Street(ニューヨーク)、M+Museum (香港)、Roche Global Campus (バーゼル)、などグローバルでの大規模プロジェクトのデザインとマネジメントを携わる。その後ファーストリテイリングに勤務し、有明本社のグローバル HQ オフィスの内装デザインを統括。原宿、銀座、ロンドン、デリでの旗艦店の企画とデザインに携わり。また、O2O を通じた購買体験の新規開発と UX デザインを推進し、Theory のリブランディングに伴う旗艦店の企画と展開も推進。2022 年より PLACECRAFT TEN の共同代表を務め活動を推進中。

店舗概要

【店 舗 名】 JINS Abbot Kinney 店
【オ ー プ ン 日】 2025 年 1 月 17 日 (金) 11:00 ※現地時間
【営 業 時 間】 11:00~19:00
【所 在 地】 1227 Abbot Kinney Boulevard, Venice, CA 90291
【店 舗 面 積】 32.52 坪/1157SF/107.49 m²

オープン記念商品概要

【商 品 名】 JINS×KILLSPENCER
【価 格】 アイエアケース 1 種 \$300 (+税)、トラベルケース 1 種 \$450 (+税)
【販 路】 JINS Abbot Kinney 店限定

ロサンゼルス現地支援団体への寄付概要

【寄 付 概 要】 1 月 17 日 (金) ~1 月 19 日 (日) の 4 店舗の売上全額
【対 象 店 舗】 JINS Abbot Kinney 店、JINS Del Amo 店、
JINS Fashion Square 店、JINS Santa Anita 店
【寄 付 先】 CAL FIRE Benevolent Foundation、Go Fund Me Wildfire Relief Fund 2025、
Los Angeles Regional Food Bank